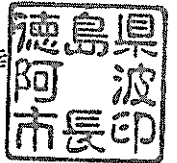




国土交通省道路局長 殿

平成19年5月8日

阿波市長 小笠原 幸



今後の道路政策や道路整備、管理について（意見）

阿波市の概要

阿波市は、徳島県中央北部の吉野川北岸に位置し、東は上板町、西は美馬市、南は一級河川吉野川の対岸に吉野川市、北部は香川県境に隣接、阿讃山地が連なり、これらの山々を水源として、宮川内谷川、日開谷川、大久保谷川及び伊沢谷川が南に縦貫し、それぞれに南面傾斜の扇状地を形成しています。

吉野川中央部の北岸流域沿いに東西に開けた平野部では、地味肥沃な土壌を活かした高品質な農産物の産地となっています。

気候は温暖で、吉野川を望む美しい自然とともに、歴史・文化資源にも恵まれ、国の天然記念物「阿波の土柱」や世界遺産に登録を目標としている「四国霊場札所」をはじめとする名所旧跡が点在しています。

現在では、徳島自動車道の開通により、西に脇町 IC、東に土成 IC が整備されており、また、東西には県道・鳴門池田線が、南北には国道318号、県道・津田川島線、県道・志度山川線が香川県と吉野川南岸の国道192号を結んでいます。

本市は古くから阿波の東西交通の要衝として位置づけられていますが山間集落が点在し公共交通機関の発達していない本市において道路は生命線であり自然災害や交通事故、観光支援、まちづくり等、地域における課題、要望は非常に多く引き続き道路整備を進める必要があります。

1) 重点化を進める上での優先度の高い政策

阿波市は郡を跨ぎ板野郡吉野町、土成町と旧阿波郡阿波町、市場町の4町が平成の大合併で出来た人口42,000人余の市であり、概要で示した通り吉野川市とは一級河川吉野川で分断されているため阿波市には西条大橋、阿波中央橋、阿波麻植大橋、瀬詰大橋、岩津橋と潜水橋（沈下橋）である香美橋、千田橋、大野島橋、川島橋があります。

○国道318号線に架かる阿波中央橋は延長820.6m、幅員6mのトラスト橋で昭和28年に供用開始され、両端には自歩道が設置されており市民の生活、経済上の基盤となっておりますが老朽化が進んでいるうえ狭隘であり朝夕の通勤ラッシュには交通渋滞の発生など深刻な問題を抱えている状況です。これらの問題の解消と、何時起ても不思議ではないと言われる東南海地震等災害時の緊急輸送路の確保を図るためにも阿波中央橋の架け替え若しくは拡幅が必要であり、国道318号線改良促進期成会を立ち上げ、要望活動を行っています。

○2000年3月井川池田 IC～川之江東 JCT が開通し高知自動車道と接続、徳島自動車道が全線開通しました。これによって四国四県の県庁所在地を X（エックス）の字に結ぶエクスハイウェイが完成となりました。徳島自動車道は阿波市の中腹山裾を東西に通っており東に土成 IC が設置されているものの、次の IC である脇町 IC までの間は 18.8 km あり、IC のない区間が長く続いております。

地域経済の浮揚、特に企業立地を促進し就業機会や所得及び定住の増加を図るうえにも

阿波市内中心部の県道津田川島線周辺に地域活性化インターチェンジの設置を強く要望するものであります。

2) その他、道路政策や道路の整備、管理全般に関すること

○西条大橋取り合い道路の早期着工について、西条大橋 734.0 mは平成16年3月開通し、一般県道宮川内牛島停車場線の整備を進めておりますが、バイパスのうち約 1,700 mが供用され吉野川の出水による通行止めや転落事故が多発するなど地域間交通の隘路となっていた潜水橋が解消され日常の利用者の安全が図られておりますが、県道鳴門池田線を横断し国道 318 号線土成 IC の南に接続し、阿波市の東玄関のアクセス道路としての機能を図る必要があるため新生阿波市においても国、県に対し地方道路整備臨時交付金等をお願いし、真に必要な日常生活の暮らしを支える生活幹線道路の整備施策を実施しておりますので道路特定財源の財政措置強化を引き続き地方の道路財源として維持すべきであると考えております。

以上のことから道路行政、沿道地域との一体整備等、他の分野との積極的な連携、住民や地域の方々との協働を図るため通常補助事業、交付金事業も活用しながら道路整備が着実に進められるよう努めたいと考えております。また将来増大する維持管理費への国費支援実現に向けた取り組みをお願いする次第であります。